

令和3年度の重点課題

○ 5学年男子
 ・「握力」、「長座体前屈」、「反復横跳び」、「ボール投げ」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
 ○5学年女子
 ・「握力」、「長座体前屈」、「反復横跳び」において、県平均値かつ、全国平均値より低い。
 ○運動習慣に関するアンケートによると、1日の運動実施時間が、30分未満と回答する児童の割合が、男子で16%、女子で18%と、県平均より高く、運動をしない児童の割合を減らしていく必要がある。

※昨年度は、コロナ禍の為、「上体起こし」、「20mシャトルラン」の2種目を実施していない。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- ①授業のはじめに、筋力・全身持久力の向上につながる運動を取り入れたサーキット運動を行った。
- ②「マラソンがんばりカード」「なわとびがんばりカード」の体育カードを利用し、休憩時間の遊びや運動の促進を図った。
- ③全クラスで、外遊びの学級レクを週1回以上実施した。
- ④学校生活の中にも、体力づくりを意識した活動を仕組んだ。（「ぞうきんしぼり（握力）」「机運び（腕力、背筋）」「立腰（体幹）」など。）

令和4年度新体力テストの結果（県平均値（令和3年度）・全国平均値（令和2年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	14.38	17.26	33.07	40.88	39.68	9.62	156.02	17.86	49.94	第5学年	14.39	17.47	39.68	41.38	32.06	9.56	152.94	11.94	54.69

県平均値かつ全国平均値未満

令和4年度新体力テストの結果（県平均値（令和4年度）・全国平均値（令和3年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	14.38	17.26	33.07	40.88	39.68	9.62	156.02	17.86	49.94	第5学年	14.39	17.47	39.68	41.38	32.06	9.56	152.94	11.94	54.69

県平均値かつ全国平均値未満

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	60.00	27.50	7.50	5.00	第5学年	52.63	23.68	18.42	5.26

学校独自の意識調査（1日にどれくらいの運動・スポーツをしていますか）

男子	30分未満	30分～1時間	1時間～2時間	2時間以上	女子	30分未満	30分～1時間	1時間～2時間	2時間以上
第5学年	24.0	17.0	39.0	20.0	第5学年	32.0	16.0	26.0	26.0

重点課題

情意面での課題

○運動習慣に関するアンケートについて（第5学年 男子・女子）
 ・1日の運動実施時間が、30分未満と回答する男子児童の割合が24%、女子32%と、昨年度の5学年児童の男子16%、女子18%より多い。
 （体育の以外の時間で、運動やスポーツをする時間が少ない5学年児童が多い。）
 ・運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が男子12.5%、女子23.7%と多い。
 （ややきらい、きらいと答える割合が他の学年と比べて、5学年の男女が共に多い。）

体力面での課題

○ 5学年男子
 ・「握力」、「上体起こし」などの全8種目中、「立ち幅跳び」を除く7種目が、全国平均値、県平均値を下回っている。
 （柔軟性、投力、持久力の種目が特に低いので、改善が必要である。）
 ○ 5学年女子
 ・全8種目中、「握力」、「上体起こし」、「20mシャトルラン」、「ボール投げ」の4種目が、全国平均値、県平均値より下回っている。
 （持久力の種目が特に低いので、改善が必要である。）

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

年間を通して準備運動（10分～15分）の中に、ACP（アクティブチャイルドプログラム）を取り入れる。
 ・しっぽとり、鬼ごっこなどの遊びを取り入れた走運動。
 ・タイヤとび、のぼり棒、うんてい運動などを取り入れたサーキット運動。
 ・ミニボールやドッジボールを使っのキャッチボールをしながの投運動。

体育の授業以外で行う取組内容

・大休憩や昼休憩の時間に体育委員会がの児童が、外遊びの紹介やなわとび運動等ののコツを教える機会を設ける。
 ・昼休憩で、週1回、「鬼遊び」等の外遊びを学級ごとに実施するし、児童が運動や体を動かすことを楽しめる機会や時間を増やす。
 ・オリンピック・パラリンピアン の講演会等を実施する。
 ・全児童を対象とした意識調査を実施する。

令和5年度の重点目標値

○新体力テストの総合評価のED率（総合評価が今年度EまたはDの児童43.6%）を30%以下にする。
 ○「反復横とび」、「ボール投げ」を5学年の男女の結果を、県平均値及び全国平均値以上にする。
 ○コロナ禍で十分な体育の授業や休憩時間の外遊び等での児童の運動活動ができていないので、今後も新体力テスト等で全学年の児童の運動能力をしっかりと把握し、走・投・跳の運動等の指導計画に役立てたい。